

冬近し

今年は久々に、秋が深まっています。天は高く、イノシシ、アライグマ肥ゆる秋です。野の扉の畑も、かつてないじゅうりんを受けています。毎朝、心身構えて、畑に出発します。

まず収穫に立ち寄る自宅に近い畑は、山から少し離れているので、時間の猶予が与えられていますが、それが1か月か1年か、それとも数年なのかわかりません。次に鶏の世話をしに、山へと向かいます。道すがら、新しいこん跡(イノシシのミミズあさりのあと)を確認します。昨年は、1週間くらいのインターバルをおいて塗り替えられていたものですが(一昨年は、数か月に1度であった)、ある程度予想していたとはいえ、現実には身に迫ってきます。鶏舎の周囲は、もう完全にイノシシのテリトリーです。今では、私が侵入者です。



おぜん立てに百有余年、原発事故とTPPで総仕上げ。おあつらえの、追い風にあおられ、大躍進はいまだ序の口か。別の畑では、本葉が2枚ほどの大根(虫が少なくなったので、ネットなし)が数本踏みつぶされ、落花生はアライグマに掘り食われています。山芋だけは、町から借りた電気柵で守っています。(左の写真)

他人事ではありません。私の目の前で起こっている形勢の逆転は、町中で、日本中の田舎で、起こっていることだからです。深刻な事態を楽しみに変え、被害の加速に合わせて喜びもいや増す、物事の見方を必要なので考案中です。ワクワクしながら、秋の夜長を過ごします。(晃)

秘密のストック・レシピ

NHKの「きょうの料理」でのさっそうとした姿を思い出しつつ、寄居町育ちの料理研究家・白崎裕子さんの最新刊をご紹介します。「かんたん、日持ちする、おいしい」作り置き調味料・ご飯の友・つけるもの・おやつのもとが、50種と、その展開レシピがたくさん。見ているだけでも、ワクワクします。目次を全部ご紹介したいくらい。「食べたいものを足すことは簡単だけど、食べたくないものを後から抜くのは、とてもむずかしい」ので、まずはひとつでも、マスターしたい。「かんたんテンメンジャン」とかいいなあ。みそ(黒っぽくなってしまった自家製みそが消費できるとのこと)、みりん、しょうゆ、てんさい糖、ごま油、しょうがを混ぜて加熱するだけ。マガジンハウス発行・A5版・1400円。



秘密の協定

といえば、TPP。現在アメリカのアトランタで、最後の？閣僚会合が行われていて、「大筋合意」の記者会見があるらしいです。秘密だけど、悪い噂ばかりもれてきています。農業や医療、公共事業とか、広く暮らしが脅かされて、私たちが得るものは何にもないみたいです。なのに、右のポスターを掲げた今の政権党が多勢なので、「合意」したら国会批准されてしまうでしょう…

イノシシ被害については、この2週間ほどで、有志で意見をまとめて署名を集め、行政区区長の会で取り上げてもらい、町に本格的総合的な対策を求める陳情を出すところまでこぎ付けました。やはり「国」は遠い、というか、いったいどこにあるのでしょうか。(10月5日 泰子)

